

第83期報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成24年3月31日

株式会社朝日工業社

当期のポイント

受注高 **631億7千1**百万円 (前年比**10.0%**減)

売上高 **676億7千1**百万円 (前年比**11.7%**減)

営業利益 **4億5千8**百万円 (前年比**83.5%**減)

当期純利益 **9千6**百万円 (前年比**93.9%**減)

Top Message

トップメッセージ



省エネルギーに関する事業を積極的に推進し、企業価値の向上を目指します。

代表取締役社長 **高須 康有**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第83期報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期の事業環境と業績

国内の経済情勢は、昨年度末に発生した東日本大震災の大打撃から急ピッチな復旧を遂げ、多くの分野で生産能力の回復がみられましたが、欧州の債務危機を背景とした海外経済の減速や歴史的な円高の進行にタイでの大洪水による被害も加わり、輸出を取り巻く環境は大きく悪化しました。年明け後、景気は緩やかに持ち直しているとの観測はありますが、先行きの不透明感は拭えず、予断を許さない状況にあります。

当社グループの事業環境は、設備工事事業では、製造業の海外生産シフトにより国内における生産環境設備投資の減少が続くなど、総じて低調に推移したことで受注をめぐる価格競争は厳しいものとなりました。精密環境制御機器の製造販売事業では、大型液晶テレビ向けの液晶パネル製造装置が伸び悩んだ一方、半導体向けやスマートフォン・タブレット端末向け高精細中小型液晶パネル製造装置の生産および販売は堅調に推移しました。

こうしたなか、当社グループは第14次中期経営計画の初年度を迎え目標達成に総力を上げて取り組んでまいりましたが、設備工事事業における激しい受注価格競争により受注高の減少と工事採算

の悪化を招くことになりました。

この結果、当期は、受注高が631億7千1百万円(前年比10.0%減)、売上高が676億7千1百万円(前年比11.7%減)となり、利益の面では、営業利益が4億5千8百万円(前年比83.5%減)、経常利益が6億1千4百万円(前年比78.5%減)、当期純利益が9千6百万円(前年比93.9%減)となりました。

今後の取組み

国内景気は、欧州経済の懸念や円高基調、原油価格の高騰によりその動向はなお不透明なままです。当社グループの事業環境におきましても大変厳しい状況が続くと思われませんが、省エネルギーに関する設備提案や機器の販売を積極的に推進することで企業価値の向上を目指してまいります。

また、当社グループは、前年度から「利益重視」を経営基盤とする第14次中期経営計画(2011年4月～2014年3月)をスタートさせ、更なる「企業体質の強化、企業価値の向上」と「持続的成長」を目指し、経営、管理、営業、施工、製造等の事業遂行に関わる全てにおいて、組織や業務の仕組み、役職員一人ひとりの取組み等の「質」に一層磨きをかけ、それらを結集して目標の達成を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも特段のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



完全制御型 植物栽培ユニット

組換え植物・非組換え植物

当社が提供する完全制御型植物栽培ユニットは、主要技術としている「最先端クリーンルームの設計・施工」と「精密環境制御」を基盤とし、15年間培った「栽培ノウハウ」を融合させて完成させました。

植物の種類によって最適な光の強さは異なりますが、なか

でも強い光環境を好むイネの栽培も実現できる高品質で高効率な栽培環境を開発しました。

また、様々な植物に対応し安全に育てるための時代を見据えた技術を確立し、設計・施工実績を重ねております。

主な特長

1. 高品質で高効率な栽培環境を実現します。

- 品種に合った最適な温度、湿度、気流、CO₂濃度を管理します。
- 幅広い光環境に対応します。
- 培養液の水温や肥料濃度を管理します。
- 天候に左右されない計画生産を実現します。

2. 組換え植物の栽培も可能です。

- 関係する法令に準拠したDNAの拡散防止措置をとっています。
- クリーンルームと同様の気密管理を採用しています。
- 残渣処理用の高圧蒸気滅菌器の設置に対応します。

3. 省エネルギー・環境負荷低減システムを導入しています。

- 照明室に外気冷房方式を採用する等、自然エネルギーを利用しています。
- 空調機からの排水を加湿や培養液に再利用しています。



完全制御型植物栽培ユニット
(当社技術研究所)



多段式植物栽培ユニット
(千葉大学・園芸学部)

【 製品ラインアップ 】

完全制御型植物栽培施設・ユニット

遺伝子組換え植物用栽培施設

多段式植物栽培施設・ユニット

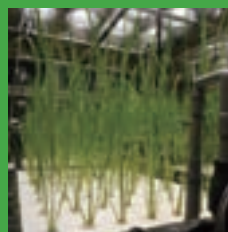
オフィス菜園

植物栽培用環境制御室

植物栽培ユニットでのイネの定植から収穫まで



播種後28日目
(定植直後)



35日目



67日目
(出穂直後)



81日目



110日目



120日目
(収穫直前)

植物栽培ユニットの導入により、植物の生育が加速され、試験研究栽培が効率的に実施できます。例えばイネの場合

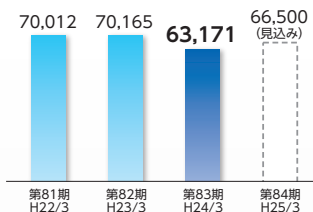
- ① 苗を定植してから**90日で収穫**できます。(一般の水田では120日)
- ② 単位面積当たりの収量が、**1作当たり65%増加**します。(水田の1.65倍)
- ③ 栽培作数が、**年3~4作**可能となります。



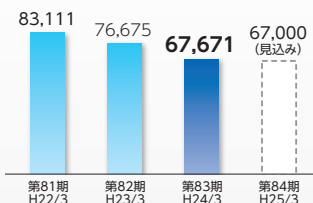
財務ハイライト

単位:百万円

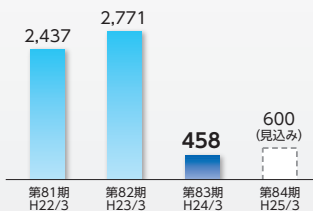
▶ 受注高
631億7千1百万円



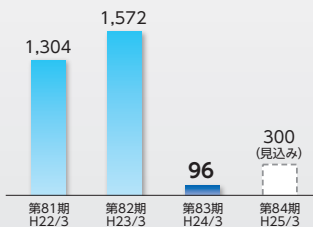
▶ 売上高
676億7千1百万円



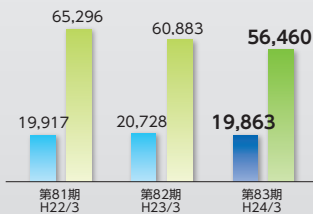
▶ 営業利益
4億5千8百万円



▶ 当期純利益
9千6百万円



▶ 純資産
198億6千3百万円



▶ 総資産
564億6千万円

連結財務諸表(要約)

貸借対照表

単位:百万円

	当期末 平成24年3月31日現在	前期末 平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	43,998	48,133
固定資産	12,461	12,749
有形固定資産	4,765	5,037
無形固定資産	336	385
投資その他の資産	7,359	7,327
資産合計	56,460	60,883
(負債の部)		
流動負債	34,130	36,984
固定負債	2,466	3,169
負債合計	36,596	40,154
(純資産の部)		
株主資本	19,526	20,525
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	12,685	13,323
自己株式	△ 738	△ 377
その他の包括利益累計額	336	203
その他有価証券評価差額金	488	292
為替換算調整勘定	△ 151	△ 88
純資産合計	19,863	20,728
負債純資産合計	56,460	60,883

損益計算書

単位:百万円

	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	67,671	76,675
売上原価	62,326	68,546
売上総利益	5,345	8,129
販売費及び一般管理費	4,887	5,357
営業利益	458	2,771
営業外収益	255	211
営業外費用	98	118
経常利益	614	2,864
特別利益	12	223
特別損失	45	36
税金等調整前当期純利益	580	3,052
法人税、住民税及び事業税	150	1,772
法人税等調整額	334	△ 292
少数株主損益調整前当期純利益	96	1,572
当期純利益	96	1,572

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

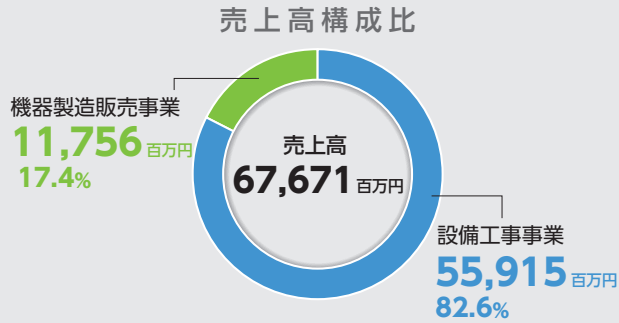
	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 5,098	9,669
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 311	△ 37
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,020	△ 618
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 63	15
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 7,493	9,029
現金及び現金同等物の 期首残高	14,420	5,391
現金及び現金同等物の 期末残高	6,926	14,420

財務の詳しい内容は、当社ウェブサイトからご確認いただけます。

朝日工業社

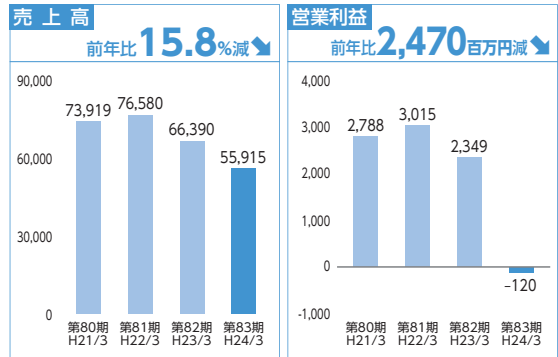
検索

■ セグメント情報



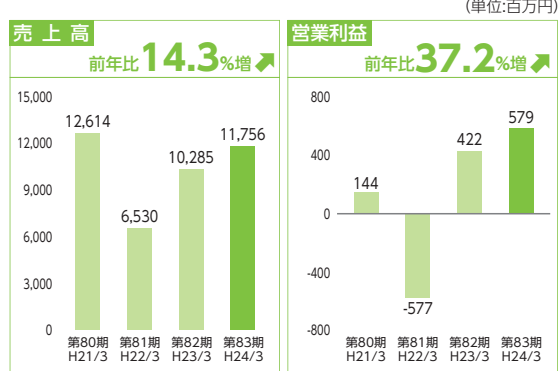
■ 設備工事事業

事業内容：空調和、給排水衛生、クリーンルーム等の環境整備に関する諸設備の設計、施工および監理
(単位:百万円)



■ 機器製造販売事業

事業内容：半導体および液晶製造装置向け精密環境制御機器の製造販売
(単位:百万円)



会社の概況 (平成24年3月31日現在)

商号 株式会社朝日工業社
ASAHI KOGYOSHA CO.,LTD.

創業 大正14年4月3日
設立 昭和15年8月8日

資本金 3,857,100千円

代表者 代表取締役社長 高須康有

従業員数 920名(連結)、893名(単体)

事業内容 ■設備工事事業
■機器製造販売事業

事業所 本社および本店(東京都港区)
大阪支社(大阪市淀川区)
支店8ヶ所、営業所30ヶ所
機器事業部(千葉県船橋市)
技術研究所(千葉県習志野市)

建設業許可 国土交通大臣許可(特-21)第2822号
管工事業、電気工事業、
機械器具設置工事業、建築工事業
国土交通大臣許可(般-21)第2822号
消防施設工事業

連結子会社 (平成24年3月31日現在)

国内 北海道アサヒ冷熱工事株式会社
旭栄興産株式会社

海外 亞太朝日股份有限公司

株式の状況 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数 78,198千株
発行済株式の総数 34,000千株
株主数 3,204名
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
朝日工業社共栄会	1,901	5.95
朝日工業社西日本共栄会	1,840	5.76
朝日工業社従業員持株会	1,600	5.01
株式会社みずほ銀行	1,585	4.96
日本生命保険相互会社	1,567	4.90
農林中央金庫	1,440	4.50
高須康有	1,019	3.19
高須佳子	772	2.41
株式会社みずほコーポレート銀行	741	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	667	2.08

株式の所有者別分布状況

所有者	株主数	保有株式数	保有比率
個人・その他	2,957名	20,017千株	58.88%
金融機関	32名	8,847千株	26.02%
その他法人	130名	4,015千株	11.81%
外国法人等	63名	1,018千株	2.99%
金融商品取引業者	22名	103千株	0.30%
計	3,204名	34,000千株	100.00%

■ 株主メモ

■ 事業年度 4月1日～翌年3月31日

■ 定時株主総会 毎年6月

■ 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある場合は予め公告いたします。

■ 株主名簿管理人・特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

■ 郵便物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 電話お問い合わせ先 0120-288-324 (フリーダイヤル)
※土・日・祝日を除く9:00～17:00

■ 特別口座お取扱店 みずほ信託銀行株式会社
本店および全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店

■ 単元株式数 1,000株
■ 上場金融商品取引所 東京および大阪証券取引所(第一部)
証券コード1975

■ 公告方法 電子公告により行います。
<http://www.asahikogyosha.co.jp>
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には日本経済新聞に掲載して行います。

※証券会社に口座をお持ちの場合、未払配当金の支払および支払明細発行以外のお手続は、お取引の証券会社にお申し出ください。
※特別口座では単元未満株式の買取および買増以外の株式売買はできません。
※株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券をお持ちの場合は至急上記「電話お問い合わせ先」までご連絡ください。

